The Hoodoo

National Park Service
U.S. Department of the Interior

日本 Japanese

ブライス・キャニオン マップ、ハイキングガイド

photo: Kevin Poxstater

[hoo'doo] 名詞 1. 侵食により残された尖塔や変わった形状の岩

周遊時間の目安

4 時間以内

ビジターセンター
まずビジターセンターに立ち寄って情報を入手し、資料館の展示、賞を受けたこともある 22 分間の紹介映像、書店を見てまわります。

自動車で周遊して展望を楽しむ
シャトル（夏期のみ）に乗るか、ご自分の自動車で、ブライス・ポイント、インスピレーションポイント、サンセットポイント、サンライズポイントを見てまわります。 お時間があれば、公園の南部にも足を伸ばしてください。

短時間の散策
リムトレイルの短い区間か、5 ページのトレイルガイドにある「初中級者向けコース」の中からどれか一つを選んでください。

4 時間以内

ビジターセンター、自動車ツアー、短時間の散策に加えて、

日帰りハイキング
ブライスは、ハイキングトレイルからの景色が一番です。5 ページのトレイルガイドにあるハイキングの表の「中級者向け」か「かなり厳しいコース]から、複合コースを一つを選んでください。

自動車ツアー

ブライス・キャニオンの片道 29 km に及ぶ観光ドライブに沿って、14 の展望箇所があります。すべての展望箇所をまわると、3–4 時間かかります。

景色の中でもっとも有名なのが、サンライズポイント、サンセットポイント、インスピレーションポイント、ブライスポイントのある、ブライス・アンフィシアターです。南側の展望は、遠くまでグランド・ステアケース・エスカランテ国立モニュメントを望むパノラマ的景色が広がります。

すべての展望箇所は、レインボーポイントに向かって道路の左側にありますので、展望箇所へはお戻りの際にお立ち寄りになるのがよいでしょう。その方が停車が容易で、公園道路に戻る時も右折するだけで安全です。

ブライス・キャニオンシャトル

ブライス・キャニオンシャトルは、5 月初旬から 10 月初旬まで運行しており、公園を安全かつ便利に見て回ることができます。バスの停留所は、公園内の次の箇所にあります。ビジターセンター、サンセットポイント、サンセットキャンプ場、ブライス・ポイント、インスピレーションポイント、ブライス・キャニオン・ロッジ、サンライズポイント、北キャンプ場。公園外には、シャトル搭乗場所、Ruby's Inn、Ruby's キャンプ場に停まります。

内容

緊急時のための情報 ページ 2
アクセシビリティ 2
天体観測 3
バックパッキング 3
火災 8
地質 6
ハイキング地図 5
情報およびサービス 2
雷 7
自然史協会 8
公園地図 4, 5
公園の概要 6
森林警備官によるプログラム ... 3
安全 3
シャトル 1,4
トレイルガイド 5
天候 7
野生動物 8
冬期のブライス・キャニオン 7

緊急時には *911* あるいは 435-676-2411 に電話（24 時間対応）するかまたは森林警備官に連絡してください。

国立公園局
米国 内務省

公園管理事務所
435 834-5322
Fax 435 834-4703
遺失物取扱：435 834-4736

郵便の宛先
PO Box 640201
Bryce, Utah 84764-0201
メール：brca_information@nps.gov

ウェブ
ウェブサイト：www.nps.gov/brca
ツイッター：brycecanyonNPS

情報およびサービス

公園道路
メインの公園道路は、通年で開いていますが、大雪の場合は一時的に閉鎖されることがあります。 フェアリーランドポイントとパリアビュー山脚道は、冬期にクロスカントリースキーヤーにその道を提供するため、意図的に除雪されません。

ビジターセンター
サンクスギビング、クリスマス、元旦以外は毎日開いています。情報、資料館、刊行物、受賞に輝いた映画、バックカントリー許可証、遺失物サービスが、ここで利用できます。

緊急の場合
24 時間緊急対応は、911 あるいは 435 676-2411 に電話を、ガーフィールド病院（Garfield Hospital、435 676-8811）と診療所（435 676-8842）は、パンギッチにあります。

アクセシビリティー
洗面所、ビジターセンター、ブライス・キャニオン・ロッジ、雑貨店（4 月から 10 月*営業）は、完全にバリアフリーです。サンセットポイントとサンライズポイントの間にあるリムトレイルの 0.8 km 区間は、舗装され、水平です。森林警備官が案内するプログラムに関する情報、およびアクセスガイドの入手についてはビジターセンターにお問い合わせください。

洗面所
ビジターセンター、北キャンプ場、サンセット・ポイント、ファービュー・ポイント、レインボー・ポイントで、通年利用可能です。ブライス・キャニオン・ロッジ、雑貨店、サンセットキャンプ場、ピーカブー・ループでは、洗面所が 4 月から 10 月の間*利用可能です。

電話
ビジターセンターと雑貨店で通年利用可能です。 4 月から 10 月の間*は、ブライス・キャニオン・ロッジとサンセット・キャンプ場でも電話は利用できます。

ペット
ペットは必ずつないでください。後始末は飼い主が行ってください。ペットが許されるのは、公園のビューポイント、キャンプ場、舗装された面や舗装されたトレイルです。建物の中や未舗装部分にはペットは入れません。

乗馬
トレーナーが引いて、馬またはラバに 2 時間あるいは 4 時間乗ります。4 月から 10 月。当日の予約は、ブライス・キャニオン・ロッジでお問い合わせいただくか、435 834-5500 にお電話ください。事前の予約は、Canyon Trail Rides, P.O. Box 128, Tropic, UT 84776 宛にご連絡いただくか、435 679-8665 にお電話ください。

入場料
自家用車および個人ビジターパス： 有料。ブライス・キャニオン国立公園で 7 日間有効。
インターエージェンシー年間パス：料金は年間パス 1 枚ごとに課金。パスは、すべての連邦有料エリアに対し購入日より 1 年間有効。

キャンプ
北キャンプ場： 通年営業。キャンプサイトは、101 箇所（冬期は 1 ループのみ営業）。先着順で利用可能、ただし RV サイトは、5 月初旬から 9 月後半までは予約できる場合あり*（電話は 877 444-6777、ウェブサイトは www.recreation.gov）。予約は、240 日前から可能。
サンセットキャンプ場： 春後半から秋初旬まで営業、102 キャンプサイト。20 箇所のテントサイトは、180日前より予約が可能で、その他は先着順。
料金： キャンプに対しては、一夜ごとに課金。
グループ向けキャンプサイト： 1 サイト利用可、予約のみ。春後半から秋初旬まで。1 グループは、7 から 30 名まで、車は 8 台まで。有料。キャンプサイトの予約は、877 444-6777 か、 www.recreation.gov まで。
ダンプステーション： 公園内には電気コンセントはなし。ただし、夏には北キャンプ場近くで使用料が必要なダンプステーションあり。通年利用可能なダンプステーションは、公園外にあり。
その他のキャンプ場： 他の国立公園でのキャンプの予約は、800 444-6777 または www.recreation.gov まで。

シャワー、ランドリー
4 月から 10 月に開いている雑貨店でコイン式のシャワーと洗濯設備が利用可能*、および公園外のいくつか近くの事業所。

リサイクリング
容器は、北およびサンセットキャンプ場、サンセットポイント、雑貨店、ブライス・キャニオン・ロッジにあります（ガラス、バイメタル缶、アルミ缶、ダンボール、プラスティック #1-7）。容器は洗ってください。電池は、ビジターセンターに置いてください。

注意：このページに書かれている日付は、変更されることがあります。最新の情報については、ウェブサイト www.nps.gov/brca をご覧ください。

宿泊施設
ブライス・キャニオン・ロッジ： 営業は 4 月から 10 月まで*、小屋、客室およびスイート、レストラン、ギフトショップ。宿泊の予約は、Bryce Canyon Lodge, P.O. Box 640041 まで郵送か、お電話（877-386-4383）または、brycecanyonforever.com をアクセスして下さい。
それ以外の宿泊施設： 公園入口付近や、トロピック（Tropic）、キャノンヴィル（Cannonville）、ブライス・ジャンクション（Bryce Junction）、パンギッチ（Panguitch）にあります。

食事サービス
ブライス・キャニオン・ロッジ： 営業は 4 月から 10 月*。食堂で、朝食、昼食、夕食が食べられます。雑貨店の営業は 4 月から 10 月*で、食料雑貨、簡単な食事、キャンプ用品があります。
その他の食事サービス：公園入口付近や、トロピック（Tropic）、ブライス・ジャンクション（Bryce Junction）、パンギッチ（Panguitch）にレストランがあります。

郵便局 / ATM / インターネット
郵便局は、Ruby’s Inn（Bryce, UT 84764）にあり、ATM と インターネットカフェもあります。ブライス・キャニオン国立公園では、公園来訪者宛の個人郵便物は受け取りません。

無線インターネット（WiFi）
無線インターネットのアクセスは、ビジターセンター、季節によってはブライス・キャニオン・ロッジのロビーと食料雑貨店の玄関先で利用できます。

礼拝
公園の外では通年で行われているところがあり、公園内でも夏の間は行われる場合があります。 詳しくは、ビジターセンターにお問い合わせください。

自転車
公園内では自転車は、舗装道路だけに制限されており、リム・トレイルのサンライズポイントからサンセットポイントまでの舗装された区間を含むすべてのトレイルでは禁止されています。近くのディクシー国有林には、レッドキャニオン（Red Canyon）を通る舗装された自転車道路や、数マイルにおよぶマウンテンバイク・トレイルがあります。

ピクニックエリア
ピクニックエリアは、サンセットポイント、雑貨店、レインボーポイント、および公園道路のマイル 4.5 に通年利用できるところがあり、4 月から 10 月は北キャンプ場の南端にも可能な場所があります。水は、マイル 4.5 とレインボーポイントを除く上記すべての場所で、季節に応じて利用できます。 火床は、北キャンプ場のピクニックエリアでのみ利用できます。.

森林警備官によるプログラム

ブライス・キャニオン国立公園についてもっと知っていただくため、森林警備官に会われることをお勧めします。森林警備官は、春夏秋の間毎日、いろいろな形で歩きながら話すスタイルで、地質、植物、動物、そして人間の歴史について話します。 冬のプログラムについてはビジターセンターにお問い合わせください。どのプログラムも無料です。プログラムに関する情報は、ビジターセンター、ブライス・キャニオン・ロッジ、雑貨店、シャトルバス、キャンプ場の掲示板などで入手できます。

地質学講義 フードゥー、古代湖、凍結風化についてお知りになりたい方。地質学者は、ブライス・キャニオンの類まれな物語を長年研究しています。森林警備官と過ごす 30 分間で、ブライス・キャニオンの類まれな地質学的歴史に対する最新の科学的解明を議論します。毎年、夏には地質学フェスティバルが開かれます。詳しくは、公園のウェブサイト（www.nps.gov/brca）をご覧ください。
所要時間：30 分

リムウォーク（夏） 絶景、魅惑的な植物と大自然の物語、地質学入門、文化的歴史など。 森林警備官と一緒に、ブライス・アンフィシアターのリム（ふち）を散策して、公園の概要を理解します。
距離：1.6 km　　所要時間：1 時間半

子供用プログラム / 家族向けプログラム（夏）ブライス・キャニオンの森林警備官による各種プログラムはどれも家族連れにもふさわしく、中でもこれはお子さんも親御さんも楽しめます。森林警備官は、いろいろな関心に応えるいろいろな種類のプログラムを提供します。大半の子供用プログラムには予約が必要ですので、ビジターセンターにお問い合わせください。
所要時間：1 時間

キャニオン・ハイク（夏）**/スノーシュー・ハイク**（冬） 森林警備官と一緒に、ブライス・アンフィシアターの中心地まで歩いて降りていきます。冬にはリムの上をスノーシューで歩きます。信じられないくらいの景色と、あなたの周りを囲むすべてについての興味深い話が楽しめます。
距離：2.5 から 3.5 km　　所要時間：2 から 2.5 時間

夜のプログラム ブライス・キャニオンの多様性は、森林警備官によるブライス・キャニオン・ロッジかビジターセンター・ホールでのプログラムで生き生きとしたものになります。 プログラムは、北キャンプ場のアンフィシアターで時折開かれます。ホールには車椅子でも入れますが、北キャンプ場施設は車椅子では行けません。
所要時間：1 時間

フルムーンハイク（夏） 月明かりの中、フードゥーの間をハイクします。1 グループは、30 名様までで、直接の予約は、ハイク当日の朝にビジターセンターでのみ受け付けています。. 5 歳以下のお子様は参加できません。月に 2 晩、満月の時に開催されます。ハイクは通常、午前 8 時 15 分までには満員になります。
距離：2.5 から 3.5 km　　所要時間：2 から 2.5 時間

天体観測（夏） 暗い夜空で有名な、ブライス・キャニオンの「ダーク・レンジャー」にご参加ください。天文に関する夜のプログラムで、望遠鏡を使い、惑星、星団、銀河、その他いろいろを見る、よいチャンスです。夏以外の季節には、限定されたプログラムが開催されますので、詳細については、毎年開催されるブライス・キャニオン天文フェスティバルの開催日を含めて、公園のウェブサイト（www.nps.gov/brca）をチェックして下さい。

バックカントリー・ハイキング

ブライス・キャニオンには、宿泊しながらハイキングができる 2 本のトレイルがあります。14.5 km のリッグス・スプリング・ループ（Riggs Spring Loop）と、37 km のアンダー・ザ・リム・トレイル（Under-the-Rim Trail）です。バックカントリー・キャンピングは、有料の許可証制で先着順です。許可証は、ビジターセンターで午前 8 時からビジターセンターが閉まる 1 時間前まで購入できます。

サイト数は 10 で、それぞれ定員は 6 名で、2 つのグループサイトはそれぞれ定員が 15 名です。キャンプファイヤーは禁止です。料理は、キャンプ用コンロをご利用ください。バックカントリーの水源は保証できないので、濾過してください。ハイカーは各自、バックカントリーにいる間は、1 日あたり最低でも 4 リットルの水を持参してください。

アンダー・ザ・リム・トレイルには、公園道路に沿った 4 つの異なる接続道路から入ることができます。リッグススプリングループ・トレイルは、ヨビンパポイントが起終点です。これらのトレイルとキャンプサイトは、フードゥーではなく、森の中にありますので、ご注意ください。

バックカントリーで泊まりがけの旅をする場合は、事前にビジターセンターにお立ち寄りいただき、森林警備官にお声かけください。ビジターセンターには、トレイルの地図と情報、キャンプサイト、飲料水、それにバックカントリーの規則が揃っています。このエリアは、クロクマやマウンテン・ライオンが生息している自然のままの景観です。ブライス・キャニオンのバックカントリーへの冒険をされる際には、これらの動物に遭遇した場合のことも含め、事前に適切な装備を整えてください。旅行を計画する際の参考として、無料のバックカントリー情報冊子をお求めください。

ブライス・キャニオンでの安全

ブライスでの死亡者数は？
ブライスで、不慮の事故で亡くなられた方は、年平均 1 名以下です。死亡の原因は、多い順に、心臓発作、崖から落下、雷、自動車事故です。怪我は残念ながら数百件発生していますが、その多くは、安全な駐車の注意を守らなかったことによるものです。

ブライスでの怪我の原因

安全運転違反
•速度超過（制限速度は、25、30、35、45 mph）。
•シートベルトのし忘れ。
•二重黄色線での追い越し
•動物との衝突。野生動物には注意を。
•追突。道路では停車せず、引っ込んだ場所に。
•濡れている道路や雪道で速度を落とさない。

岩登り、崖からの滑り降り
ブライスの岩は崩れやすく、崖や危険な急斜面になっています。シマリスよりも重いものは支えられませんので、手や足をかけられません。岩を上ったり、斜面を滑り降りたりすると、極めて危険な岩崩れを起こすことがあります。

動物への餌やり
餌を与えられた動物は攻撃的になります。小さな動物でも、噛まれると傷口を縫うほどの怪我になることがあり、病気も伝染します。野生動物は遠くから観察し、近づいてくる動物は追い払ってください。

過酷な天候の無視
一日の最高気温と最低気温の差は、27°C にもなります。稲妻は通年で危険ですが、夏の嵐の中では特に危険です。稲光と雷鳴の間が 30 秒以下の場合は必ず、建物の中か自動車の中に避難してください。

脱水症状
1-2 時間おきに 1 リットルの水を飲んでください。適度に水分を補給された体は、体温の調節がうまくでき、熱中症にも強くなります。日焼けも脱水症状につながります。頭上の日光や紫外線の反射から守るため、帽子、日よけ、サングラスを装着してください。

トレイルからはずれる
指定されたトレイルに沿い、足場が不安定な崖の縁からは離れてください。なだらかに見える斜面でも、足場を保つことができないことがあります。

無理のしすぎ
公園の標高は、2778 m（9115 ft）に達し、普段より酸素量が 30% 少ない状況になります。ブライスのトレイルは、上から始まりますので、帰りは登り坂になります。疲れる前に戻ってください。自分自身の体の限界をわきまえてください。

適切でない履き物
かかとをしっかりサポートし、底に突起があって滑りにくいハイキングブーツを履いてください。スポーツサンダルやジョギングシューズは、ハイキングには不適で危険です。

ブライス・キャニオンシャトル

無料シャトル

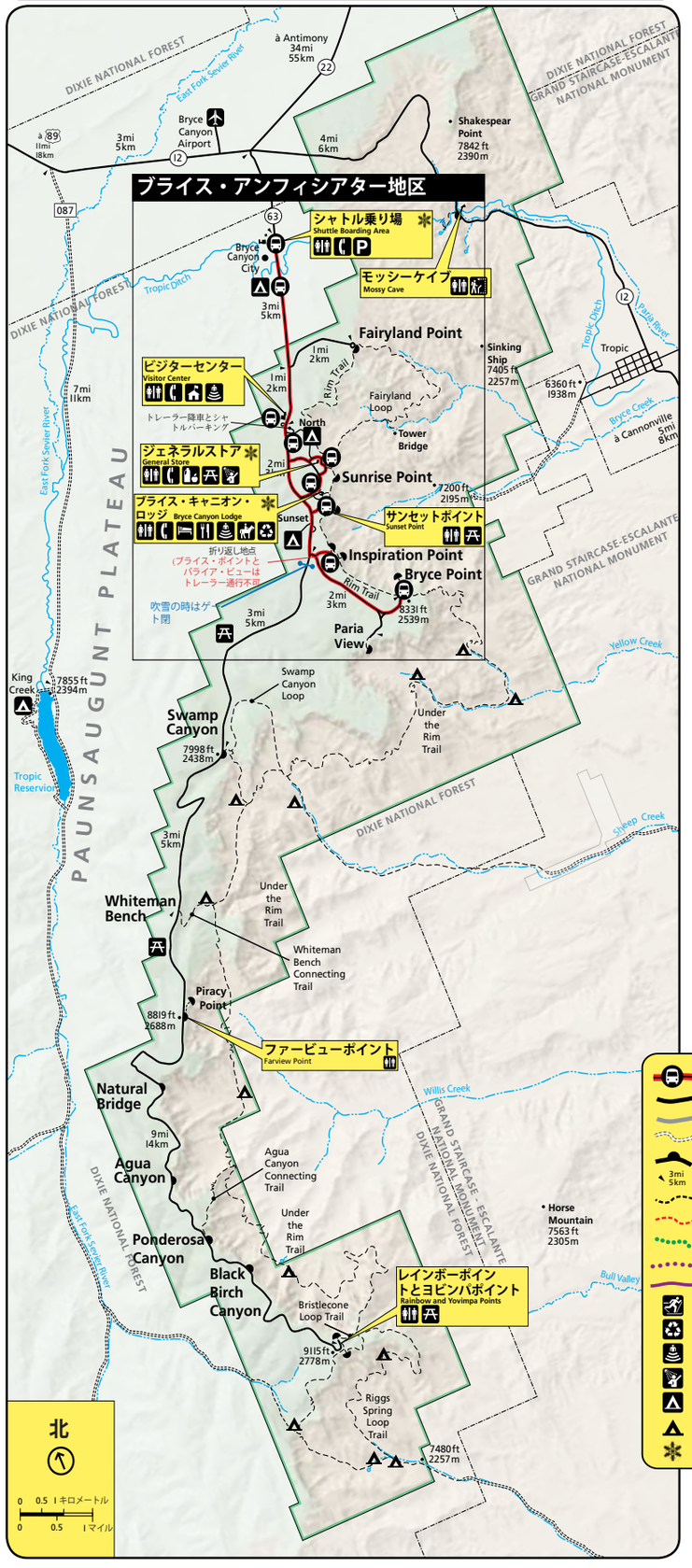
ブライス・アンフィシアタールート *5月初旬から10月初旬まで*

ブライス・キャニオンのシャトルは**ボランティア活動**です。シャトルを利用することで、交通量が減り、燃料が節約でき、時間とお金を節約し、この惑星を守ることができます。シャトルバスが公園内で停車するのは、ビジターセンター、サンセット・キャンプ場、ブライス・ポイント、インスピレーションポイント、サンセットポイント、ブライス・キャニオン・ロッジ、サンライズポイント、北キャンプ場です。シャトルは公園の外では、ブライス・キャニオンシティのシャトル搭乗場所、Ruby's Inn、Ruby's キャンプ場に停まります。車は、シャトル搭乗場所に駐車できます。シャトルバスは、バリアフリーです。ペットは持ち込めません。さらに夏の間は、南ビューポイントへのガイド付きツアーが一日に 2 回運行されています。

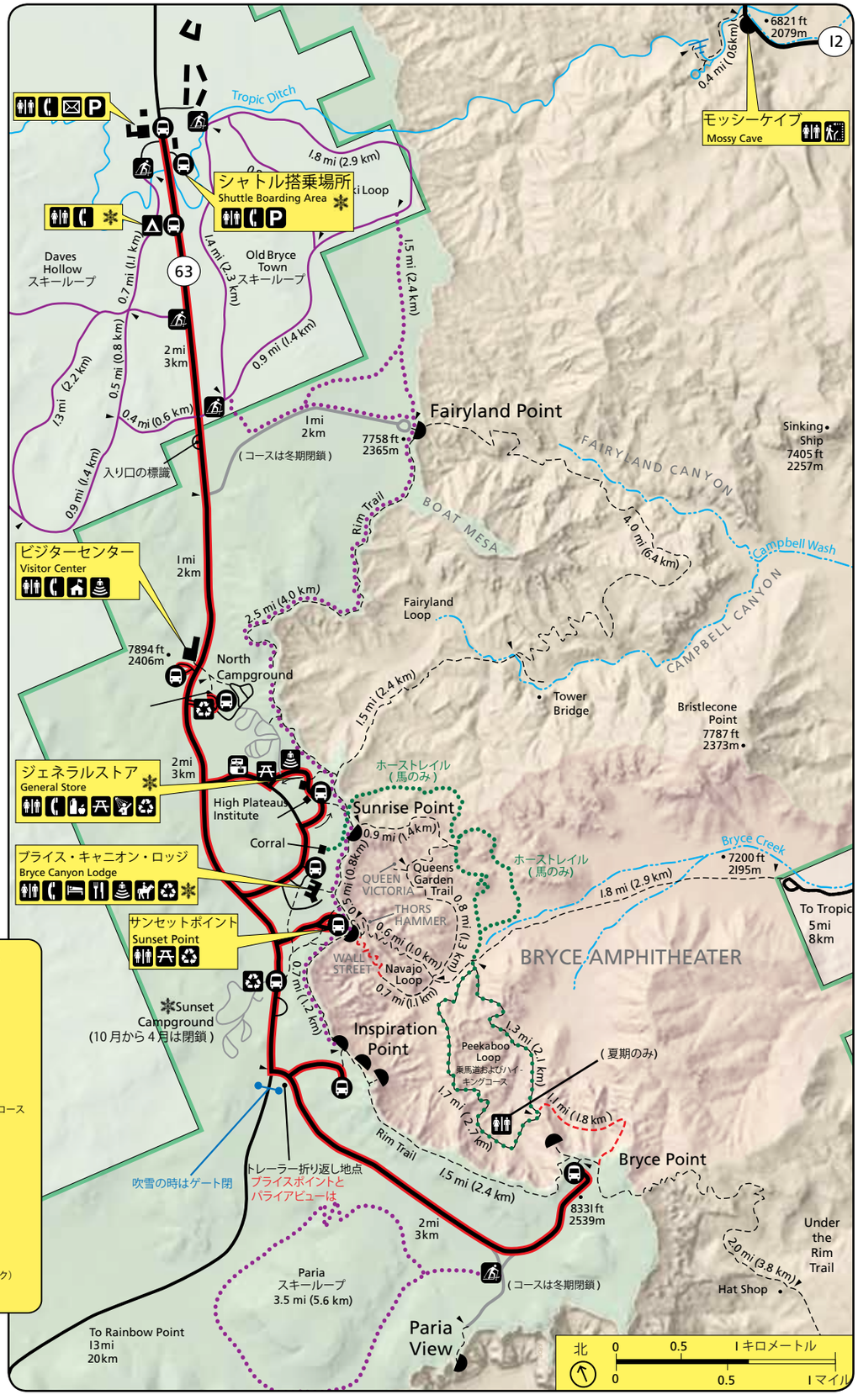
ハイキングの注意事項

- 警告 - ほとんどのハイキングトレイルで落石の危険があります。落石の兆候が見えたり、聞こえたりした場合は、そのエリアから退去してください。
- 滑りにくいハイキングブーツを履いてください。
- 飲料水をたくさん携行し、日に 4 リットルは飲んでください。
- 公園の標高は、2778 メートル（9115 フィート）を超えます。多少激しい運動をしただけでも、軽く頭がクラクラしたり、吐き気がする場合があります。自分自身の体の限界
- をわきまえてください。 このシンボル　のあるトレイルは、4-10 月の間、馬が通ります。馬が優先されます。トレイルの山側に立ち、馬を行かせてください。自分がいることを馬に気づかせてください。大声は出さないでください。
- 整備されたトレイルをはずれないでください。近道をしないでください。
- 野生動物に餌をやらないでください。
- いつでも、どこにも、何も投げてはいけません。
- 他の人にていねいにし、騒がしくならないように、大声はだめです。
- ティッシュペーパーやタバコの吸いがらなど、ごみはすべて持ち帰ってください。
- サンセットからサンライズまでのリムトレイル区間以外のトレイルでは、ペットは禁止
- されています。上りのハイカーが優先です。

ブライス・キャニオン国立公園



ブライス・アンフィシアター地区



日帰りハイキングガイド

ハイキングにおすすめの場所 ブライス・キャニオンには、8 つの日帰りハイキング・トレイルがあり、その多くが別のトレイルと組み合わせることでさらに長いハイキングコースにできます。**1 回のハイキングしかできないのであれば、クイーンズ / ナバホ・ループが最適でしょう。**

トレイル名 / 起点	一周の工程	最高地点 勾配 最低地点	説明
初中級者向けコース（なだらかな勾配で高低差もわずか）			
モッシーケイブ (MOSSY CAVE) ハイウェイ 12 沿い、ブライスの北（非周回）	1.3 km 0.8 マイル 1 時間	6920ft 2109m 6827ft 2080m 200ft 61m	川沿いをモッシー・オーバーハングや小さな滝まで歩きます。（滝は 5 月から 10 月。）
サンセットからサンライズまで サンセットポイント（非周回）	1.6 km 0.1 マイル 1 時間	8000ft 2080m 8024ft 2446m 34ft 10m	リムトレイルの舗装部分で、サンセットポイントからサンライズポイントまで、ほぼ平坦。
リムトレイル リムに沿った全周（非周回）	1.6-17.7 km 1.0-11.0 マイル	7780ft 2371m 8315ft 2534m 1177ft 359m	リムトレイル全体あるいは一部分を歩く。上からのフードゥーの眺め
ブリストルコーン・ループ (BRISTLECONE LOOP) レインボーポイント	1.6 km 0.1 マイル 1 時間	9115ft 2778m 200ft 61m 8939ft 2725m	スプルース・ファーの森をブリストルコーンがある崖まで歩きます。
クイーンズガーデン (QUEENS GARDEN) サンライズポイント（非周回）	2.9 km 1.8 マイル 1-2 時間	8001ft 2439m 357ft 109m 7676ft 2340m	キャニオンに入るトレイルの中では一番容易。短い分岐トレイルの端にあるクイーンビクトリア（Queen Victoria）が見える。
中級者向けコース（登り下りの高低変化のある急勾配）			
ナバホループ (NAVAJO LOOP) サンセットポイント	2.2 km 1.3 マイル 1-2 時間	8000ft 2438m 550ft 168m 7476ft 2279m	この短いながらも険しいトレイルについては、ウォールストリート、ツーブリッジ、ソーズハンマーが見える。
注意：ナバホループのウォールストリート区間は、氷と落石で危険な状態のため、冬から初春の間は閉鎖されています。			
クイーンズ/ナバホ複合ループ サンセットポイントまたはサンライズポイント ***一番人気のあるコース。***	4.6 km 2.9 マイル 2-3 時間	8001ft 2439m 600ft 183m 7476ft 2279m	上記の二つのトレイルをリムトレイルでつないで周回コースにしたものです。
タワーブリッジ (TOWER BRIDGE) サンライズポイントの北（フェアリーランド・ループの一部、非周回）	4.8 km 3.0 マイル 2-3 時間	7984ft 2433m 802ft 245m 7210ft 2197m	ブリストルコーンパインとチャイナウォールが見える。橋まで続く、影の多い 0.4 km の山脚トレイル。
ハットショップ (HAT SHOP) ブライスポイント（非周回）	6.4 km 4.0 マイル 3-4 時間	8315ft 2534m 1075ft 328m 7380ft 2249m	バランスロック・フードゥーの一群が見える、下りのアンダー・ザ・リム・トレイル。
かなり厳しいコース（何度もの高低変化がある急勾配）			
フェアリーランド・ループ フェアリーランドポイントまたはサンライズポイントの北	12.9 km 8.0 マイル 4-5 時間	8075ft 2461m 1716ft 523m 7142ft 2176m	チャイナウォール、タワーブリッジ、背の高いフードゥーが見える壮大なトレイル。
ピーカブーループ ブライスポイント	8.8 km 5.5 マイル 3-4 時間	8315ft 2534m 1571ft 479m 7429ft 2264m	ブライス・アンフィシアターの中心部を抜ける、急勾配ながら壮大なコース。
ナバホ/ピーカブー連結ループ サンセットポイント	7.8 km 4.9 マイル 3-4 時間	8000ft 2438m 1581ft 482m 7390ft 2252m	ナバホループとピーカブーループを結ぶ小さな 8 の字。
8 の字 （クイーンズガーデン / ピーカブー / ナバホの連結） サンライズポイントまたはサンセットポイント	10.2 km 6.4 マイル 4-5 時間	8001ft 2439m 1631ft 497m 7390ft 2252m	クイーンズガーデン、ピーカブーループ、ナバホトレイルを組み合わせてひとつにした究極のコース。

公園の概要

設立
1923 年に米国森林局によって管理されるブライス・キャニオン国定史跡となり、連邦議会は、国立公園を作る法律を 1924 年に通過させ、1928 年にブライス・キャニオン国立公園が正式に設立されました。

標高 / 規模
最低地点：イエロークリーク（Yellow Creek）2018 m（6,620 ft）、最高地点：レインボーポイント（Rainbow Point）2778 m（9,115 ft）
面積：143.45 km^2（14,502 ヘクタール）

名称
エベネゼル・ブライス（Ebenezer Bryce）とメアリー・ブライス（Mary Bryce）が、このエリアに住んでいたのは、1875-1880 年からで、ユタの南西部および北部アリゾナの開拓地として支援しました。

人
プエブロ族の先祖は恐らく 2 千年以上前からこのエリアに住んでおり、1200 年代にフリーモントカルチャー（Fremont Culture）に受け継がれ、その後、南パイウーテ族が住むようになりました。モルモン教の開拓者達が来たのは、1870 年代です。1929 年の公園訪問者数は、22,000人で、昨年は、150 万人でした。

植生
公園内には、400 以上の自生植物種が生育しています。ピニヨンマツ（Pinyon pine）とジュニパー（Juniper）は、低地のフードゥーに生え、ポンデローサパイン（ponderosa pine）の森が台地頂上を占め、最高標高には、スプルース（spruce）、モミ（fir）、アスペン（aspen）が茂っています。公園のどの標高にも、ブリストルコーンパインが生育し、中には樹齢 1,600 年以上というものもあります。

動物の生態
ユタプレーリードッグは、絶滅危惧種ですが、何箇所かの草原で見ることがあります。ミュールジカとプロングホーンは、よく見かける大型動物です。マウンテン・ライオンとクロクマも公園内に生息していますが、ほとんど見かけません。ブライスを訪れる鳥は、200 種以上います。

ブライス・キャニオン・ロッジ
ギルバート・スタンレイ・アンダーウッド（Gilbert Stanley Underwood）の設計で、1925 年に建てられました。これは、アメリカ合衆国国定歴史建造物です。

ブライス・キャニオンでの地質学

ブライス・キャニオン国立公園の地質学上の歴史は、豊かで複雑です。数多くの作用と出来事が膨大な時間を通じて相互作用し、この類まれな景観を作り、絶え間なく変化させてきました。歴史が始まったのは、地質学者がクラロン層と呼ぶ、石灰岩からできたカラフルなフードゥーが出現するずっと以前のことです。まず、柔らかい堆積物が岩に変わる必要があります。堆積物が石化する前に、それがくぼ地に溜まらなければなりません。くぼ地ができるには、まず山が必要です。

およそ 2 億年前、ネバダ一帯の地球の地殻が、南カナダに向かって縮んでいきました。強く緻密な太平洋海床が、北米の大陸地殻に衝突しました。北米は上に位置しましたが、それはぶつかりあいによってばらばらになりました。1 億 2 千万年以上のせめぎ合いの中で、圧縮の力は北米地殻を曲げ、折り重ね、切断し、そして持ち上げ、その後巨大になるセビアー（Sevier）山脈が誕生します。長い時間の間、雨と雪が地質学的削岩機となり、山脈を割っていきました。山脈からは、水の流れや川が破片を東に運び、その途中で巨岩を砕いていきました。

恐竜が絶滅するすこし前、65 億年ほど前に、アメリカ西部の土地は大きく変貌します。太平洋プレートが我が大陸の地殻を押し上げ、マントルに沈み込んで溶けていく代わりに、その上に強固に乗りました。押し上がってきたマグマがロッキー山脈を形成し、ユタとアリゾナをコロラド台地の中にねじ入れました。ゆっくりとした絶え間ない上昇が、セビアー山脈と、まだ小さく若いコロラド台地の間の内陸のくぼ地を作り上げます。セビアー山脈を削る川がこのくぼ地に達した時、複数の川が束ねられた流れとなり、泥と砕屑物の層が堆積していきました。一番下の部分では、連なった湖や池が作られました。蒸発で水がなくなっていき、くぼ地から流れ出る川はなかったため、堆積物は閉じ込められることになりました。クラロンくぼ地として知られるこの巨大な泥のたまりは、55 - 30 億年前の間、溶けた石灰岩である炭酸カルシウムを多く含む堆積物で満たされ続けました。

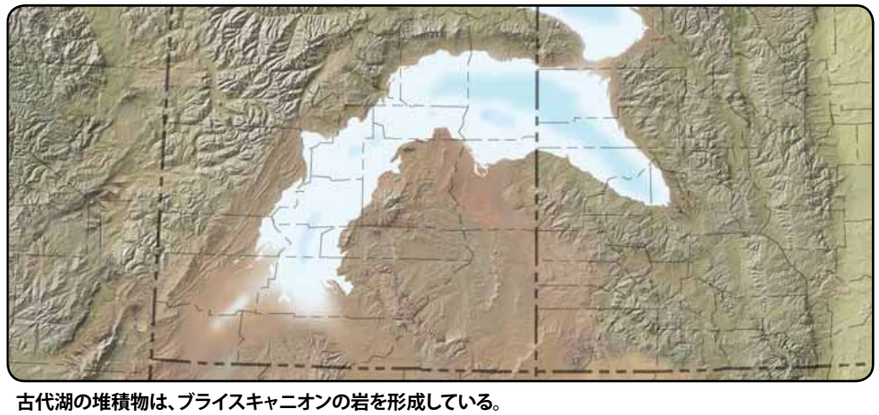
クラロン層は、2 種類の石灰岩からなっています。下層のピンク色をした要素と、上層の白い要素です。くぼ地の最初の段階では、この環境は湿地帯のようなものだったようで、そこでは堆積物が酸化鉄の色である赤色になることが植物の根によって促進されました。ピンク色をした要素の中では、薄く不連続の灰色の層が形成され、この湿地帯の中の個々の沼の塩分が非常に濃く、ミネラルを多く含むようになり、シアノバクテリア以外は生息できなくなりました。この藻類のような生物は、マグネシウムを水から得ることで石灰岩中のマグネシウム濃度を高め、苦灰岩が作られていきます。このことは、フードゥーの形成にとって非常に重要な事項です。時の流れとともに、そして水深が深くなるにつれて、くぼ地は純粋な湖に変わっていき、そこではイオンを大量に含む石灰岩が堆積していきました。

この歴史を記録しているはずの岩が存在せず、地質学者は、この泥の沼の運命についてよくわかっていません。蒸発したのか？このくぼ地が持ち上げられて水が流れでたのか？地質学者がわかっていることは、長い年月の間に、堆積物の層が圧縮されて岩になり、900 m から 2745 mまで持ち上げられたということです。この上昇は 15 億年ほど前に始まり、コロラド台地を形成していきます。およそ 8 億年ほど前に、ブライス・キャニオン地域は上昇が止まり、ポンソーガント高原（Paunsaugunt Plateau）となり、その後はずっと沈んでいき、グレートベイズン（Great Basin）となります。

学問的には、ブライスは峡谷ではありません。峡谷は基本的に、水の流れ、つまり川によって侵食されてできるものだからです。自然に酸性雨が石灰岩を溶かし、フードゥーの丸まった角を作りましたが、ブライス峡谷の形の大半は凍結した水が解けることによるものです。

日中に氷と雪が溶け、夜に凍るということが、およそ一年に 200 日間繰り返されました。水が氷になる時、それは固くなるだけでなく、体積が一割ほど増えるのです。これは岩石に対してとてつもない圧力を及ぼし、内部の割れ目からばらばらにします。最初に上昇と下降の間に作られた割れ目に力が及び、岩は刻まれて割れた残骸になっていきます。モンスーンの雨がその破片を取り除き、フィンを形作りました。これがフードゥーの第一段階です。通常、凍結風化がフィンを割り、窓と我々が呼ぶ穴を作る段階が、フードゥー形成の第二段階です。窓が壊れると、そこには、我々がフードゥーと呼ぶ赤褐色の尖塔が残ります。この過程をフードゥー形成と考えることがよくありますが、実際は、5 千 5 百万年前から始まった、水によって岩が破壊される終りなき過程のひとつの段階なのです。

岩石層をよく見ると、フィンが成長し（A）、窓を作り（B）、その後崩れてフードゥーができる（C）様子が容易にわかります。



古代湖の堆積物は、ブライスキャニオンの岩を形成している。

天候と気候

ブライス・キャニオンの天候	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
気温（ºC）												
平年の最高気温	4	5	8	56	13	76	24	27	23	17	11	6
平年の最低気温	−13	−11	−8	25	−4	3	8	7	3	−2	−7	−12
記録的暑さ	17	19	24	27	32	35	36	34	33	29	24	19
記録的寒さ	−35	−34	−25	−20	−15	−7	−4	−8	−8	−19	−29	−30
32ºC を越える日の平均日数	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0
0ºC を下回る日の平均日数	31	28	31	20	20	6	0	9	9	22	29	31
降水（雪）量（cm）												
平年	4.3	3.6	3.6	3.0	2.0	1.5	3.6	5.6	3.6	3.6	3.0	4.0
最大	23	17	17	9.6	5.8	6.8	9.6	12	11	11	14	16
24 時間での最大降水（雪）量	5.8	3.8	3.8	4.6	3.0	4.3	4.6	9.6	8.6	4.3	3.8	8.1
最大積雪量	160	190	190	157	46	15	T	T	10	56	56	124
測定可能な降水（雪）がある日数	7	7	8	6	5	3	5	6	4	4	5	6
雷雨の平均回数	0	0	0	1	5	6	14	19	7	2	0	0

冬期のブライス・キャニオン

ハイキング：ブライス・キャニオンの日帰りハイキングトレイルの大半は、冬期も開いています。ナバホループのウォールストリート区間と、ピーカブーループへのブライスポイント連結トレイルの 2 つは例外です。これらのトレイルは毎冬、落石と不安定な氷が危険なため、安全のために閉鎖されます。どのハイキングトレイルも雪で覆われ、凍結している場合もありますので、ハイキングブーツを強くお勧めします。人通りの多いトレイルのほとんどは、すぐに固まり、凍結するため、ブーツに滑り止めを装着するとハイキングをより楽しむことができます。人の少ないトレイルは、雪が深くなるため、スノーシューズが必要です。

クロスカントリーとスノーシューイング：ブライスの積雪量は変化しますので、バックアップ計画を立てておくことが重要です。 雪が 90 cm から 120 cm あると、公園全体でスキーが可能です。唯一、立入り禁止なのは、リムから滑り降りることです。積雪が 30 cm に満たない場合、滑走可能なのは、Ruby's Inn、レッドキャニオン・バイクパス、フェアリーランドとパリアロードの整備されたトレイルです。

スキーとは違い、スノーシューイングは、リムの下のハイキングトレイルも許されています。積雪が 30 cm に満たない場合、スノーシューズが沈みにくいメリットよりも、歩きにくさの方が感じられます。雪がすぐに固められ、凍結する人通りの多いトレイルでは、滑り止めをつけたハイキングブーツの方がよいでしょう。

クロスカントリーの道具は、公園の外でレンタルできます。ハイキングブーツ用の滑り止めは、ビジターセンターや公園の外で購入できます。公園内では、ダウンヒルスキーとスノーボードは禁止されています。

雷に対する安全対策

雷には十分な注意を

ブライス・キャニオンでの夏の嵐では、死亡事故も発生するとても強い雷が発生します。キャニオンの端に沿って目をやると、雷に撃たれた数え切れないほどの木が見えるはずです。そうならないように注意しましょう。

ここブライス・キャニオンでは、過去 18 年のあいだに 3 名の旅行者の命が雷によって失われています。さらに 6 名の旅行者が、落雷によって重傷をおっています。

安全な場所はどこか？

もっとも安全な場所は、ビジターセンターのような囲まれた建物です。その次によい場所は、被われた自動車の中です。

安全な場所に行けない場合には、危険な場所を避けてください。それは、高いところ、ひらけているエリア、孤立して背の高いもの、水を使うところ、屋根のない自動車などです。**雷雨時の雨宿りのために木の下に入ってはいけません。**

安全のためにどうすればいいか？

このエリアでは、7 月と 8 月のあいだは午後に雷雨がよく発生します。野外での活動はできるだけ、一日の早いうちに行動する計画を立ててください。**30/30 ルール**を学び、実践してください（下記）。

避難先を探すタイミングは？

稲妻が見えたらすぐに数を数えます。稲妻と雷鳴の間に **30 秒間**数えられない場合、外にいるのは危険です。すぐに避難先を探してください。

外に戻るのが安全なのはいつでしょうか？

雷鳴が聞こえたり、稲妻が見えたりしてから **30 分**経過するまでは外に出るのは危険です。

日が射してきたとしても、それに惑わされてはいけません。暗雲が去っても稲妻は起こり得ます。このエリアで発生しつつある新しい嵐に気をつけてください。

自分の安全は自分で守るということを忘れずに。今にもやって来そうな雷雨の兆候を察知してください。安全のために滞在の予定を変えるのを厭わないでください。30/30 ルールを実践しましょう。

なだれに対する安全対策

まれですが、ブライスでのなだれが、生命を脅かすほどの雪と泥を運んでくることがあります。

- 峡谷の縁から離れる。見えない雪庇が自分の重みで崩れることがあります。
- 歩いている最中あるいはスキー中に、こもった、たたくような音が聞こえたら、引き返す
- 。地すべりにつかまってしまったら、頭を表面に出し続けるために「泳ぐ」。
- 単独行動は避け、定められたトレイルから外れない。

野生動物

ブライス・キャニオンには、さまざまな野生動物を育んでいるいくつかの種類の生育環境があります。200 種を越える鳥、70 以上の哺乳類、13 種の爬虫類、4 種の両生類が、ここで記録されています。

もっともよく見かける大型哺乳類は、ミュールジカとプロングホーンで、公園内には小数でめったに見かけることがありませんが、ヘラジカも生息しています。まれに見られる捕食性哺乳類としては、マウンテン・ライオン、クロクマ、コヨーテ、アカギツネ、ハイイロギツネ、アナグマ、オナガイタチなどがいます。キンイロジリス（Golden-mantled ground squirrel）とユタプレーリードッグは、もっともよく見かける小型哺乳類です。

動物の保護と皆さまの安全のため、**公園内の野生動物には餌をやらないでください**。当公園の野生動物を保護するためのもうひとつの方法は、公園内の道路では速度制限を守り、標識に従うことです。

写真上から：プロングホーン（Pronghorn）、ユタプレーリードッグ（Utah Prairie Dog）、ニシキフウキンチョウ（Western Tanager）、マウンテン短角トカゲ（Mountain Short-horned Lizard）。 (Photos: Kevin Doxstater)

火災

ブライス・キャニオンでは、森林火災の標識があるのに気づかれるでしょう。 火災のいくつかは落雷によって発生し、それ以外は管理火災（prescribed burning）と呼ばれる方法で公園管理者によって意図的に起こされたものです。

以前は、このエリアのあちこちで、火災が自然発生していました。1800 年代後半になるまでは、落雷によって頻繁に火災が起き、植物の成長に活力を与え、土壌養分をリサイクルし、下草を無くし、野生動物の生息環境を多様にしてきました。 放牧、火災の抑止、その他の土地管理の実践が、この自然のサイクルを変え、公園のいくつかのエリアで枯れた木や下草が危険なまでに堆積し、状態の悪い森が増えてしまいました。

国立公園局の第一の使命は、ダイナミックな自然のプロセスを保存することです。ブライス・キャニオンでは、森もエコシステムを健全なバランスに戻す努力の中で、火を重要なツールとしてうまく使っています。ここでは、火災管理者が、森と草原に活力を与えるために、火災の挙動が管理できる間に意図的に火をつける管理火災を用います。加えて、落雷によって発火した自然火災は、閉じたゾーン内では燃えるに任せ、それはしばしば、その方が管理費用が安くなります。

2009 年の夏には、ブライス・キャニオン火災管理部門は、ディクシー国有林と共同で、3 ヵ月間燃え続けた原野火災を管理しました。ブリッジ火災は 2009 年 6 月 14 日に、国有林の土地での落雷によって始まりました。この火災は、公園の頂上のホワイトマンベンチ（Whiteman Bench）に至る前にひと月間燃え続けました。この火災の証拠は、公園道路のマイルマーカー 8 と 10 の間に見ることができます。さらにそれは、スワンプ・キャニオンとファービューポイントの下に見えます。ブリッジ火災は全部で 1,926

スワンプ・キャニオンから見た 2009 年のブリッジ火災による煙。

ヘクタールを焼き、そのうちの 779 ヘクタールは公園の境界内で、公園の歴史の中で最大の原野火災となっています。林冠を開け、林床にポンデローサパイン、アメリカヤマナラシ（quaking aspen）、その他の在来種の再生を促進するために、燃え続けるままにされました。

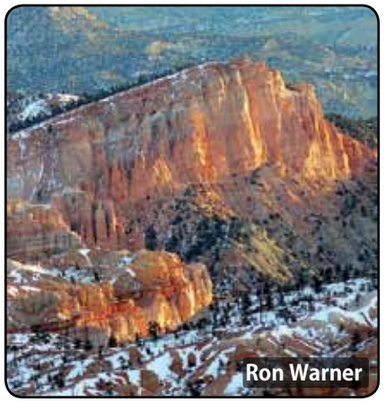
お気づきのように、黒くなった木々は、我々による火災の管理によって、ここで成長しているシカ、ヘラジカ、プレーリードッグ、数限りない種類の鳥を招きました。 動物だけでなく、森や草地植物のために火災の管理方法を継続して改善するため、公園の科学者が、植物や動物がどのように火災に対応するかを測定しました。

ブライス・キャニオン自然史協会

PO Box 640051,
Bryce, UT 84764-0051
435-834-4782　Fax 435-834-4606
www.brycecanyon.org

ブライス・キャニオン自然史協会の会員には、次のような利点があります。

- 15% の割引が、店内でブライス・キャニオン自然史協会が販売するすべての商品に対して適用されます。電話（435 834-4782）やオンライン（www.brycecanyon.org）による購入も同じです。
- 60 を越える提携の非営利協会が運営する数百の店舗でも割引が適用されます。それらは米国内の数多くの国立公園やその他の公的な場所にあります（割引を受けるためには、会員カードを提示してください）。
- ブライス・キャニオン自然史協会の会員は、ほとんどの高原協会のコースでも、割引が受けられます。それらのコースでは、アウトドアに関する詳しい教育が受けられます。詳細は、お電話からウェブサイトで。



1961 年に設立された、ブライス・キャニオン自然史協会は、ブライス・キャニオン国立公園とディクシー国有林の支援を目的とする非営利団体で、科学、教育、歴史、案内活動を行っています。これは、一部においては、販売および無償配布用の教育的出版物と資料の作成、および、ジュニアレンジャー・プログラムなどの案内活動の支援によって成し遂げられています。ブライス・キャニオン自然史協会のいずれの書店でも、商品の購入が同協会の使命を支援することにつながります。